

写真の新圧縮形式（HEIF）について

iOS 11 にアップデートした以降、iPhone で撮影した写真が Windows のパソコンで開けなかったり、サイトにアップロードしても表示できなかったりなど、困った経験はありませんか？原因は iPhone で撮った写真の新圧縮形式にあります。

アップルは、2017 年に iOS 11 にアップデートしたとき、写真保存の標準ファイル形式として JPEG より圧縮率の高い HEIF（High Efficiency Image File Format。ヒーフと呼びます）形式を新規に採用し、拡張子として.HEIC（へイクと呼びます）を付け保存しています。この形式は JPEG 形式に比べ圧縮率は約 2 倍で保存容量は約半分となります。

この HEIF 形式は、DVD やデジタルテレビ放送に採用されている「MPEG-2」などと同様、Moving Picture Experts Group(MPEG)により標準化された国際規格です。アップル製品で先行して採用された形式で、写真ファイルを扱うには圧縮率が高いので有用ですが、採用当時は互換性が低く 2017 年には Windows10 ではファイルを開くことができませんでした。現在は、マイクロソフトのサイトから「HEIF 画像拡張機能」を入手してインストールすることで、フォトやエクスプローラで開くことができます。また Android も 2018 年公開の Android OS 9.0 より対応していますが、カメラ機能はスマホのメーカーが仕様を決めているため、まだ Android 端末すべてが対応しているわけではありません。しかし、順次新機種が発売されるに従い対応する機種が増えていくことが期待できます。

2020 年 10 月現在でも、開けないアプリが多く、例えば Photoshop では「サポートしていません」とエラーになってしまいます。

以下、iPhone で保存する写真のファイル形式を JPEG 形式とする方法と、HEIF 形式の写真を JPEG 形式に変換する方法を説明します。

iPhone で保存する写真のファイル形式設定

iPhone で保存する写真のファイル形式を設定する方法は以下です。

1. [設定] > [カメラ] とタップして『カメラ』画面を開きます。
2. 『カメラ』画面の [フォーマット] をタップします。
3. 開いた『フォーマット』画面の [高効率] をタップすると HEIF 形式で、[互換性優先] をタップすると JPEG 形式で保存されます。

Android で保存する写真のファイル形式設定

Android 端末ではまだ HEIF 形式で保存できるものが多くはありませんが、HEIF 形式で保存できる端末多くはカメラ（写真）アプリの設定で JPEG 形式にするか HEIF 形式にするかを選択できるようになっています。

HEIF 形式の写真を JPEG 形式に変換する

HEIF 形式の写真を自動同期で『OnDrive』や『Google フォト』に保存する、iPhone 内の『ファイル』に保存すると HEIC 形式のままとなりますが、『メール』添付、『LINE』メッセージ、『OneDrive』転送とすると iPhone 側で JPEG 形式になります。

HEIF 形式の写真を Windows10 パソコンに取り込んだ場合は、『HEIF 画像拡張機能』を MicrosoftStore から入手してインストールすると『フォト』や『エクスプローラ』で開くことができますが JPEG へ直接変換することはできませんが、HEIF 形式を開くことができれば、『フォト』の編集画面に切り替えコピーを保存をすることで JPEG 形式の保存ができます。

JPEG へ変換する方法として、ウェブで使える『Apowersoft HEIC JPG 変換フリーソフト』を使うと便利です。URL 『<https://www.apowersoft.jp/heic-to-jpg>』へアクセスしてウェブページを開き、JPEG へ変換したいファイルをドラッグするだけです。